

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

美里町健康づくり推進協議会
美里町食育推進会議

2 開催日時 平成26年12月25日(木)18時30分から20時00分 まで

3 開催場所 美里町健康福祉センター 研修室

4 会議に出席した者

- (1) 委員 高橋文一委員、玉手英一委員、阿部紀子委員、渡辺新美委員、
松本紀子委員、佐々木洋子委員、穴戸三千孝委員、今野幹子委員
- (2) 事務局 副町長 佐々木守、課長 佐藤 淳一、課長補佐 菊地知代子、
技術主査 日野とも子、技師 及川沙希、技師 伊藤 恵、
技師 高橋真紗子、分室長 千枝則夫、係長 佐々木早苗、
技術主幹 佐藤直子、技術主査 千葉 雅子、技師 佐々木史絵
- (3) その他

5 議題及び会議の公開・非公開の別 (公開)

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数 無し

8 会議資料

- 資料1 美里町健康増進計画目標(指標)と現状値
- 資料2 美里町健康増進計画の推進に向けた平成27年度保健事業計画(案)
- 資料3 第2期食育推進計画の進捗状況(目標、指標、取り組み一覧)
- 資料4 平成26年度食育に関する取り組み予定について
- 参考資料 平成25年度保健事業統計
平成26年度母子保健事業統計

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・町の実態・課題や健康づくりと食育の計画などを多くの町民に発信できる手段を検討しながら、目標達成に向けた取り組みを進めること。
- ・目標値の達成状況等により、見直しを検討すること。

(2) 詳細な意見(別紙)

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

委 員 _____

委 員 _____

会議の経過

	委嘱状公布
佐藤課長	開会
佐々木副町長	あいさつ
佐藤課長	美里町健康づくり推進協議会条例第4条と美里町食育推進会議条例第5条により委員の推薦によって会長並びに副会長を決定することになっておりますが、決定するまでの間、副町長が会議をすすめさせていただきます。
佐々木副町長	美里町健康づくり推進協議会と美里町食育推進会議の会長は同じ方でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
佐々木副町長	みなさんからの会長の推薦をお願いいたします。
玉手委員	高橋文一委員はいかがでしょうか。
佐々木副町長	みなさんよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
佐々木副町長	副会長はいかがでしょうか。
高橋会長	玉手英一委員いかがでしょうか。
各委員	異議なし
佐々木副町長	それでは、会長には高橋文一委員、副会長には玉手英一委員ということをお願いいたします。
高橋会長	みなさん、よろしく申し上げます。それでは、次第に沿ってすすめさせていただきます。議事録署名委員及び書記の選任ですが、指名させていただきますのでよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
高橋会長	署名委員に玉手委員と松本委員をお願いしたいと思います。書記は高橋保健師をお願いいたします。 5. 審議事項に移ります。1)美里町健康増進計画の進捗状況及び平成27年度実施計画(案)についてお願いします。
菊地	資料1及び資料2で説明させていただきます。平成25年度までの現状値からみえる課題として、栄養・食生活状況では、主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの割合が3歳児では増加傾向ですが、小学生の食育調査結果では減少傾向であること、また、むし歯の有病者率が3歳児では年々減少してきているものの、むし歯の罹患型が

	<p>ジュース類の影響と考えられるA型が多くみられていること、更には、がん検診等の受診率が低い状況が続いており、特に40歳代や男性の受診率が低い状況であることが挙げられます。</p> <p>平成26年度の実施内容については継続中のため平成25年度までの実施状況を含めての進捗状況の報告と平成27年度の計画について説明させていただきます。</p> <p>平成27年度の重点取組項目について各担当者から説明させていただきます。</p>
各担当者	<p>平成27年度重点取組内容</p> <p>(1) 栄養・食生活(担当者 伊藤恵)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・子育て支援センターと連携し、20～40歳代保護者向け食育事業 <p>(2) 歯の健康(担当者 日野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児歯科健診事業～美里町のむし歯の現状について周知と、むし歯予防のための正しい食生活の情報提供 ・歯周疾患健診～健診の周知と節目年齢受診者増を目指し、検診料金の無料化 <p>(3) 生活習慣病予防(担当者 及川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り世代の検診受診数増を目指す取組み 40歳・50歳節目年齢者への個別の受診勧奨 受診機会の拡大 (結核検診、特定健康診査、胃がん検診、子宮がん検診の二次検診の実施) ・重症化予防の取組 がん検診精密検査該当者・健診結果要医療者への受診勧奨
菊地	<p>平成27年度は以上の3点を特に重点項目として取り組んでいきます。資料1の6ページ以降についてはそれぞれの重点項目について記載しています。</p>
高橋会長	<p>みなさんから質問や意見等はありませんか。</p>
玉手副会長	<p>重症化予防の取組で特定健診の結果、受診勧奨となっている者に対し、優先順位を決めて実態把握をしていくということですが優先順位はどのように決めるのですか。</p>
及川	<p>人工透析になると医療費が高額になることなどから、GFR 値が低値の方や、血圧が高値で e-GFR 値が低値の方を優先し保健指導も含めて訪問等で状況把握したいと考えています。</p>

	<p>また、血圧が明らかに高値で受診していない方やヘモグロビン A1c 高値の方、クレアチニンが低く血圧も高値で治療していない方を対象に訪問していきたいと思っています。</p>
高橋会長	<p>よろしいでしょうか。他に気づいた点がありますか。</p>
佐々木委員	<p>検診の受診率の低さには驚かされます。自分の体の故障について気づかず働いているのは恐ろしいことだと感じます。健康福祉課で様々配慮し工夫しているところですが検診の受診率は低いままです。</p> <p>現在は、事業主に対して従業員に受診奨励をするよう通知を出すところはないのですか。</p> <p>平成になってから、各職場に健康管理委員を置くようにと通達があったと思います。そういうものがあると、そこで働く人には健診受診・精密検査受診の推奨を何度も行っていた時期がありました。健康福祉課で一生懸命やっても受けない人に対しては別なところからのアプローチが必要なのではないのでしょうか。</p> <p>家族が言うだけでは、なかなか動かないと思うので、職場等から受診奨励するようなものがないのかと思います。</p>
松本委員	<p>働いている方は事業所で検診をしているところもあると思いますが、この受診率は働いている人は含まれるのですか。</p>
菊地	<p>受診率については意向調査の中で、職場で受ける方や他で受けるという方を除いて出しています。</p>
松本委員	<p>それでは、低いですね。地域保健と職域保健の連携は保健所でも力を入れています。職場に関しては労働基準協会になりますが、そういったところと連携して声掛けをしていく必要があると感じています。</p>
菊地	<p>職場の部分では、大きな事業所では職場内の検診をすすめるなど衛生管理者がいて指導が入っているかと思います。</p> <p>町の方では昨年度、受診率が伸び悩んでいる40歳代に対しがん検診のアンケート調査を実施しました。受けないという方々の要望としては、忙しいため町が行っている検診の時間や日程と合わないのので広く日程を取ったり、検診を受けやすい環境整備をしてほしいという要望が多くありました。</p> <p>様々な検診の中で集団検診で行えるものと医療機関にお願いするものとの検討しながら検診を行っていますが、特に子宮がん検診や乳がん検診といった女性の検診については、医療機関で受けられないかという要望が多い所であり、それについては近隣の町や医師会と協議しながら今後の検討課題にしていきたいと考えています。</p> <p>また、申し込んでいたが受けそびれた方々に対し通年の検診の他</p>

	<p>に2次検診のご案内をさせていただきますと、その中での受診率は良いので健診機関等と協議しながら今後は受けられるチャンスを広げていきたいと考えています。</p> <p>要望すべてに応えることはできていませんが、一つずつ計画の中で実施をしていきたと考えています。</p>
高橋会長	<p>受ける本人の自覚だと思います。自覚がない人にいくら勧めても受けないと思うのです。</p> <p>本人にインパクトを与えるような情報を流してもらった方が、自分の状態を気づいてもらえるのではないかと考えています。</p> <p>保健所と連携しながら、良い情報の流し方を考えていただきたいです。恐怖心をあおるような言葉や写真を活用しながら良いパンフレットの作成等をお願いしたいと思います。</p> <p>その他、資料1-1、14)60代で歯が25本以上ある人の増加についての数値ですが、この数値が歯周疾患健診等から集計しこまめに出てきてくれると良いです。この数値を出せるよう処理の仕方を工夫してほしいです。宮城県内でも美里町は計画期間を長く設定しているので、中間の数値が出てくれると目標に近づきやすいと思います。</p>
菊地	<p>歯周疾患健診になると年代や人数の偏りもあるので、それが町の実態として捉えられるかが難しいところです。10年計画ではありますが5年の節目で一旦健康調査等も含めながら町民のみなさんの実態把握もできればと考えています。そこで、委員のみなさんに結果報告や見直しも含めご意見をいただき検討したいと考えています。</p>
高橋会長	<p>よろしくお願いします。他に何かありませんか。</p>
菊地	<p>一点、よろしいでしょうか。大崎管内の生活習慣病の実態をみた時に特に高血圧が多いことについて、今後の取組課題として考えています。</p> <p>県の増進計画でも今年度は特に塩エコということで減塩活動に取り組んでいます。町でも塩エコ・減塩を実施の重点項目にして取り組んでいるところです。若い世代からの減塩の意識づけや実態把握のため乳幼児健診でも味噌汁を持ってきてもらって塩分測定をしています。しかし、そこでの調査の結果だと数値はそれほど高くないのが現状です。しかし、県の調査では塩分量が多いという事で、その中身・実態はどのようなもののでしょうか。年代によって塩の量の取り方が変わってきているものなののでしょうか。若い人たちには減塩が浸透してきているのかなと感じているのですが、どのようにしたらよいのでしょうか。</p>

高橋会長	味噌汁など持ってきてもらおうと、実際のものではなく計測用として持ってきていると思います。工夫しないと実態はつかめないと思います。しかし、塩分は問題だと思imasるので今後も実態把握は行ってもらいたいと思います。
菊地	大崎管内はやはり塩分摂取量は高いのでしょうか。
松本委員	<p>大崎管内のみでというデータのまとめ方ができませんが、おそらく高いだろうと思っています。食習慣として味噌汁・漬物があるというのはあると思いますが、様々な地域で味噌汁の杯数を調べると減ってきています。1日1杯くらいのところが多くなっています。各市町で味噌汁を持ってきてもらい、塩分濃度を測っていますが低くなっているようです。</p> <p>保健所でも塩エコということで色々検討しているところですが、出前講座に行き30代・40代・50代の方にアンケートしてみると、漬物や味噌汁はどちらかと言うと50代以上の方で50歳未満の方は麺類が多く、つゆを飲み干す人がほとんどの状況で驚いています。またお昼にお弁当持参している方も多いですが、カップスープやミニカップラーメンを付けて食べている人が多いようです。来年度、事業所の協力を頂きながらそのあたりの調査をしていきたいと考えています。</p>
高橋会長	玉手先生、塩と血圧について最近はどうなのでしょう。
玉手副会長	今分かっていることの他にないと思います。実際の塩分量を測りたければ尿を測る方法があります。
高橋会長	それも一つの方法としてあるんですね。ありがとうございます。その他、ご意見ありますでしょうか。
阿部委員	<p>小学生の主食・主菜・副菜をそろえて食べる子供の割合が減少していることに驚きました。</p> <p>中学生を修学旅行に連れて行くと、朝はバイキングなので好きなものを取って食べます。1日目は野菜を取って食べる子供が少ないです。2日目になると周りを見て野菜を取るようになります。そこで出てくる食生活というのは家庭でのものが反映されていると感じています。中学生は良くなっている状況ですが、小学生がどんどん悪くなってきています。しかし、小学生はどうしようもないと思います。子供たちが大人になった時の健康のためにも保護者への啓発の機会があると良いと思いました。</p>
高橋会長	ありがとうございました。
佐々木委員	会議に来る前、食生活改善推進員として不動堂中学校で5回シリ

	<p>ーズの授業をしたときのお礼状が届いていました。</p> <p>食育の授業で私たちが話したことは子どもたちに響いています。ただ、家庭に帰った時に実行できているかは別として知識としては子どもたちの中に入ったなと感じました。</p> <p>自分の取っていた塩分が多いことやカルシウムの役割などお礼状に書いてありました。授業で測ったのは、自分たちが作った味噌汁とインスタントの味噌汁、カップラーメンの汁の塩分濃度です。ラーメンの汁は1.3%程度で既成の味噌汁は1.1～1.2%です。私たちが奨励している塩分濃度は0.8%ですが、自分が濃い味噌汁を飲んでいることがわかりました、という感想が多かったです。つゆを全部飲んではいけないのだとわかりました、という感想もありました。感想を見ながら食育の授業は大切だと感じました。</p> <p>栄養士も幼児に対する栄養指導や各地区の栄養教室を行っていますが、小学生が主食・主菜・副菜、全部そろっていないのは、お母さんの手が抜けているのかもしれないです。幼児までは手がかかるが、小学生はいくらか手が離れてお母さんの手が抜ける時期だと思います。中学生になり自分の体に対する意識が高まってくると子どもに話が浸透していくと思います。その時期に合わせた形で話すことは大切だと感じました。</p>
高橋会長	<p>よろしいでしょうか。それでは次に、美里町食育推進計画の進捗状況及び平成27年度実施計画(案)についてに移ります。</p>
伊藤 恵	<p>資料3、4に沿って説明</p>
高橋会長	<p>気づいた点などはどうでしょうか。今野委員いかがでしょうか。</p>
今野委員	<p>すべて関連している事と思いますが、計画を多くの人に発信できる手段を考えていくことも大事だと思いました。</p> <p>子どもたちも含め、一人ひとりが自分が食べるという事について分かってもらえると良いと思いました。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。渡辺委員、何かありませんか。</p>
渡辺委員	<p>遠田商工会では1000件以上の会社があります。啓蒙活動の話をしました。商工会の職員は15名おり全員健診を受けています。しかし、他の会社の管理者はよほど危機がないと受けないと思います。様々な社長がおりますが、脅かしをかけるほどの事をしなければ40代や30代は気を付けない人が多いです。病院にも行く時間がなくて行けない環境に対し腹立たしく感じています。そういう会社が多いのが現状です。事業所に行くとき、啓発していきたいと思います。</p>

高橋会長	宍戸委員いかがでしょうか。
宍戸委員	食育活動は様々なさっていると感じました。子どもだけでなく、親にも声掛けが必要だと思います。広報でも何でも声掛けをして呼びかけていただきたいと思います。
阿部委員	食育に関して学校では、放送委員が毎日の給食の食材に含まれる栄養素や、美里町産の食材について放送しています。また、南郷中学校の場合は年2回、栄養士が教室に来て直接生徒たちに指導・説明してくれる機会があります。作ってくれている方が家庭でできない食育の部分を補完してくれているため、感謝しています。
高橋会長	ありがとうございます。 私から一つよろしいでしょうか。目標値が出ていますが、目標値をすでに上回っているものやもう少し高くして良いのかなと思う部分があります。目標値を変更する気持ちがないか早急に考えて欲しいです。 地場産品についてですが、ふるさと美里の恵を知る食育の中の地場産品を知る食育、の中の、学校給食の地場産品使用割合の目標値は17.1%です。しかし、他の目標値はこれより少し高めになっています。もう少し高く設定しすすめてほしいと思います。地場産品は何年計画かで行う必要があるとは思いますが、そのあたりについてももう少し考えてほしいと思います。
玉手副会長	私の立場としては、今後の課題としては、アレルギーについても考えていかなければいけない時代だと感じています。
高橋会長	今後、アレルギーも含め地域課題の検討をしてほしいと思います。
宍戸委員	学校給食で地産地消として JA との連携はどうなっているのですか。以前は契約をして納入する等あったと思いますが、そういう計画は今はないのですか。
佐藤(直)	合併する前の南郷地域で契約農家と品目を決めてやっていたのですが、様々な状態の野菜の納品が続き、ある時期はしましたがそれ以降は納品できないと契約農家に言われた経緯もあります。他にも商品価値が低くなった商品の納品もありました。
宍戸委員	納品数が多いという問題もあるのでしょうか。中卒など人数の少ないところには納品ができないのでしょうか。
佐藤(直)	現在は JA などではなく個人の農家と契約をして納品はされています。しかし、需要の方が多い状況です。地場産品を使いたい学校は多いですが、納品できるという農家が少ないです。農家の方々は70

	<p>代後半が多いので、需要に応じた数を納品できないのです。 需要数には対応できないと農家からお断りされている学校もあります。</p>
高橋会長	<p>現状について分かりました。今後何年もかけて計画していかなければいけないものだと思います。</p>
渡辺委員	<p>農家が契約栽培することは、需要はあるが供給がおぼつかないということもあります。生鮮品は劣化するものです。農家も70代になっています。我々が生産者を育てていかなければいけない時代に来ていると思われま。契約栽培はある程度、安全で安くおいしく提供しないとイケません。契約栽培というのは冷害だから納品できない、ということではできません。野菜のみならず、食糧品では難しい所です。</p>
高橋会長	<p>その他ありませんか。</p>
松本委員	<p>宮城県で一番課題になっているのはメタボリックシンドロームです。全国でワースト2位、5年連続です。沖縄に次いで全国で2番目に多い県という事になっています。子どもの肥満も非常に多いです。県としても適正体重の維持のため食生活の改善等取り組んでいかなければいけないと思っています。 美里町も男性のメタボリックシンドロームが管内では多いので、食育及び健康増進を通じて適正体重の維持に努めていただければと思います。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。3)その他に移ります。何かありますか。</p>
今野委員	<p>今、給食ではお米を食べているのですか。それは地元のものを使えないのですか。</p>
阿部委員	<p>南郷中学校では、美里町のお米を出しています。</p>
今野委員	<p>安心しました。</p>
菊地	<p>その他、母子保健統計等の参考資料を付けさせていただきましたので、ご覧いただければと思います。</p>
高橋会長	<p>震災時、北浦小学校の間借りの園舎で過ごしていた子供たちの健康状態が怪しいようです。しっかりとしたデータではありませんが震災の余波が出てきていると思われま。肥満児等も含め知っておいてほしいと思います。 以上、今日はありがとうございました。ぜひ、今日の意見を取り入れて目標値を目指して頑張っていただきたいと思います。</p>
佐藤課長	<p>閉会</p>